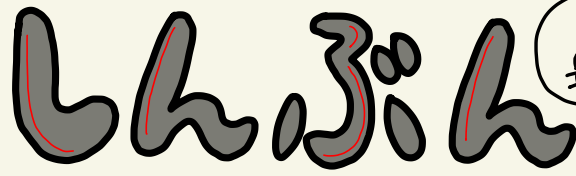


妖怪イモリ坊主を知ったとき「絶対おもろいせん」ってなったので、今回記事にしました。

Vol. 76



くさい息をかけるの最悪すぎん?!



発行日：2023年 5月 30日

発行：朝日塾中等教育学校 理科

## 妖怪イモリ坊主

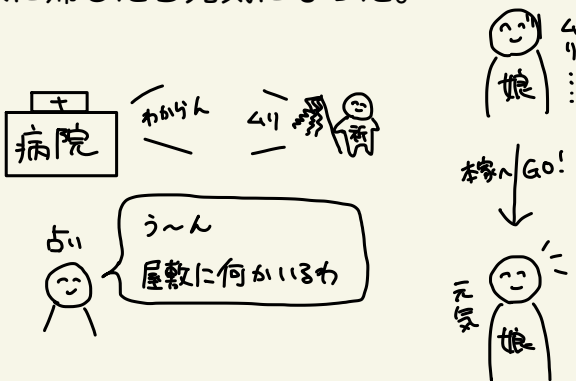
佐渡国の見付島に、儀左衛門というお金持ちの人が50歳くらいで隠居した。近くに、200年来住む人もなく荒れた土地があったが、手入れをしていい感じにしたので、妻と娘にお手伝いさんを男女5、6人を引き連れて住むことにした。



佐渡国 in 見付島



半月ほど経つと、娘が何となく痩せ、食事も進まなくなった。医者にかけたり、祈祷してもらってもダメだったので、占ってもらったら、「屋敷に怪しいものがいて祟ってるんじゃない?」って言われた。娘を本家に帰したら元気になった。



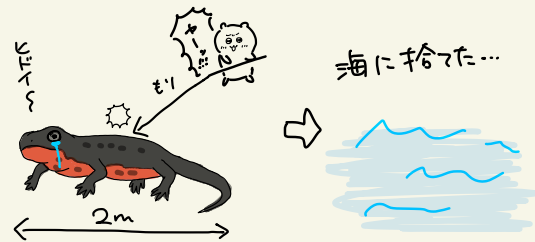
その後、妻もお手伝いさんも倒れたので、話を聞くと「ときどきくさい息をかけられている…」と話した。

儀左衛門の屋敷の近くに住んでいた隅田小太郎という剛力の郷土がいた。隅田小太郎とともに屋敷を見張っていると、黒い坊主が6人が襲ってきた。



隅田小太郎が「あの坊主、泥臭かったから堀の中から来たに違いない!」って言ったので、近郷の若者数十人を引き連れて堀の泥を攫っていくと、底に大穴が出てきた。

その大穴に動くものがあつたので鍬で突くと、2mのイモリが突き殺されていた。残りのイモリも突き殺して海に捨てた。これ以降、屋敷で体調を崩すことは無くなった。



参考文献 碓井益雄『イモリと山椒魚の博物誌』工作舎.1993年2月20日初版発行

次回 未定

えっ... ネタ切れ...!?